

# 07年日本平和大会 in 沖縄ニュース 11月6日 NO. 12

〒105-0014 東京都港区芝 1-4-9 日本平和委員会気付

TEL 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277 E-mail: info@j-peace.org

## 教科書の検定意見撤回のたたかいを学びに、 平和大会 in 沖縄へ 全国から参加しましょう 全教中央執行委員 高橋 信一

日本平和大会に全国の教職員が期待を寄せています。それは、文部科学省が高校歴史教科書検定において、沖縄戦における「集団自決」に関わる記述が「沖縄戦の実態について誤解するおそれのある表現」であるとして、日本軍による命令・強制・誘導等の表現を削除・修正させました。それに怒った沖縄県民が9月29日に大規模な県民大会を開催し、それ以後の運動が、今、記述を元に戻す動きとなって来ているからです。

沖縄県民の10人に1人にあたる11万6千人もの人が結集した9月29日の県民大会で高校生は、「この記述をなくそうとしている人たちは、おじい、おばあちがウソをついていると言いたいのでしょうか」と、歴史の真実をくつがえそうとする勢力を厳しく告発し、「たとえ醜くても、真実を知りたい、学びたい、そして伝えたい」と訴えました。そして、県民大会は「歴史の真実をそのまま次の世代へ伝えることが日本を正しく歩ましめる」とするアピールと、県民の総意として国に対し、教科書検定意見を撤回し、『集団自決』記述の回復を直ちに行うことを求める決議を採択しました。

教科書は子どもたちに真実を伝える重要な役割を担っています。だからこそ、沖縄戦の実相を正しく教え伝え、悲惨な戦争が再び起こることがないようにしなければなりません。政府・文部科学省は、この子どもたちの思いと沖縄県民の総意にこたえ、ただちに検定意見を撤回し、真実の記述された教科書を子どもたちに手渡すべきです。しかし、政府・文部科学省は教科書会社に修正の申請を出させ、それに基づいて記述を回復させるとの姑息な動きであり、検定意見を撤回する考えはありません。

今回の教育の分科会では、地元沖縄県歴史教育者協議会の平良宗潤氏に『教育再生』等教育の反動化と教科書検定』とのテーマで、さらに地元の沖教組那覇支部の宮城正さんに「沖縄の平和教育実践」について講演していただきます。沖縄の人民のたたかいと歴史、そして平和教育の実践を学びたいと計画しています。皆さん、沖縄へ、そして教育分科会にご参加を！

### 青年分科会 お話して下さる方決定 ~7人という贅沢企画です~

青年分科会「オキナワから安保を知る～沖縄戦・『祖国復帰』運動経験者から学ぶ」（那覇市民会館大ホール集合）は沖縄戦の体験や戦後の米軍占領下での闘いの体験を、約100名の参加者が小グループに分かれて直接お話を聞き交流する企画です。すごい人生を歩まれ、そして平和運動の大先輩の方々ばかりです。この方々が一堂に会して、青年に語るなんて企画は二度とないかもしれません。

#### 【お話しくださるみなさん（50音順）】

- ・島袋善祐さん(反戦地主。父の戦争体験を元に。父は軍の徴用から脱走して抵抗)
- ・平良啓子さん(学童疎開船・対馬丸の生存者。教員として復帰運動に。現在は太宜味9条の会代表)
- ・仲松庸全さん(沖縄戦・南部戦線を約3ヵ月さまよう。元県議会議員)
- ・古堅実吉さん(鉄血勤皇隊として戦争を体験。元衆院議員)
- ・真栄田義晃さん(瀬長亀次郎・那覇市政時の人民党市会議員)
- ・宮里政秋さん(祖国復帰協議会執行委員。元県議。元那覇市教育長)
- ・山城達雄さん(沖縄民主青年同盟初代書記長。米軍基地で働く青年の実態を訴えた)